

白石市・登別市 交流のあゆみ

- 明治2年(1869年)12月
当時の片倉家当主邦憲(11代)の代理として12代景範が初めて幌別郡(登別市)に入る
- 昭和57年(1982年)5月
白石青年会議所が登別市を訪問し、登別青年会議所と姉妹青年会議所の盟約調印
- 昭和58年(1983年)10月
登別市盟約調印団が来白し、姉妹都市締結の盟約を調印



▲姉妹都市締結盟約調印式(白石市中央公民館)

- 昭和59年(1984年)8月
国鉄白石駅、幌別駅が姉妹駅提携
- 昭和59年(1984年)11月
登別市で第1回白石市物産展示即売会開催
- 昭和60年(1985年)10月
登別・白石姉妹都市親善交流会を設立
- 昭和60年(1985年)11月
白石市で第1回登別市物産展示即売会開催
- 昭和61年(1986年)10月
白石・登別老人クラブ連合会姉妹提携調印
- 昭和62年(1987年)11月
両市の小中学生絵画交流展開始
- 平成5年(1993年)8月・11月
両市で姉妹都市締結10周年記念祝賀会開催
- 平成7年(1995年)3月
阪神・淡路大震災を契機に、大規模災害時に助け合う



▲相互援助協定調印式(登別市役所)

- 平成15年(2003)9月・10月
両市で姉妹都市締結20周年記念祝賀会開催

●記念祝賀会
市民参加の祝賀会が登別市で開催されます。
白石市からも市長をはじめ、市民の皆さんから募集した20周年記念訪問市民団員35名が参加します。
訪問団員の皆さんは、大鷹沢大町地区の皆さんが祝賀会で「大町太神楽」を披露するほか、記念講演会への参加やスポーツ交流、市内観光などを行い、交流を深めます。



▲姉妹都市締結20周年記念訪問市民団員の皆さん

●「片倉御膳」披露会
白石市から割烹「大上」さんが出張して、片倉家が仙台藩主をもてなした際のお膳を再現した「片倉御膳」の披露会が行われます。
●記念講演会
片倉家当主片倉重信氏が招かれ、登別市民会館で講演します。
*また、9月6日・7日には、登別市の刈田神社祭典にあわせて「白石市の観光と物産展」が登別市役所前で開催されます。

●白石市の祝賀行事
白石市でも、白石市農業祭開催の前日、10月31日に登別市からの訪問団をお迎えして、記念祝賀会を開催します。
●日時
10月31日(金)
17:30~20:00
●場所
パレスリゾート白石蔵王
祝賀会の内容や、参加についての詳細は、10月号の広報しろいしなどでお知らせします。

姉妹都市締結20周年を記念して 祝賀行事が行われます

姉妹都市締結20周年を記念して、白石市・登別市それぞれの市で市民訪問団などをお迎えして、さまざまな記念行事が行われます。

白石市の祝賀行事

両市の交流を 次の世代まで

歴史的なきずなをきっかけに、さまざまな姉妹都市交流を行っている、白石市と登別市。友情を育みながら、お互いのまちの認識と理解を深め合ってきました。
お互いに訪問したり迎えたり…。この交流の思いは、特に感受性豊かな子どもたちの心に深く刻まれ、さらに次の世代へと引き継がれていくことでしょう。
市では、今後も姉妹友好都市交流協会などが主体となり、青少年の文化・スポーツ交流を中心に、物産や観光交流など、より一層交流が深まっていくことを期待しています。



▶登別の小学生たちを見送る白石第一小学校の児童の皆さん

友好と理解を深めるために… さまざまな交流事業

登別市との交流は、白石市姉妹友好都市交流協会の中の「登別・白石姉妹都市親善交流会」が主体となって、文化・スポーツ・物産など多彩な交流を行い、楽しみながら友好を深めています。



●ふるさと豆記者訪問事業
碧水園能楽堂で能の体験交流を行った登別市立青葉小学校と白石第二小学校の児童(7月29日)



●姉妹都市国際親善水泳大会
スパッシュランドしろいしを会場に、登別市をはじめ、海老名市、ハーストビル市といった白石市の姉妹都市の小中学生により開催しています。今年は、9月14日(日)に開催されます。



●少年スポーツ交流事業
柔道・剣道・空手・軟式野球・サッカーなどの種目で交流を実施しています。今年度の交流種目は軟式野球で、各少年野球クラブから選抜された選手たちが、8月9日から11日にかけて登別市を訪問して熱戦を繰り広げました。



●物産展の開催
登別市の刈田神社祭典と白石市の農業祭開催時に、相互に物産展を開催しています。



●小学生絵画作品交流
両市の小学生の絵画作品を相互に交流展示しています。白石市では、農業祭開催時に登別市の小学生の作品を展示しています。



●こけしの絵付け教室
登別市では、白石市のこけし工芸家を講師に、小学校で「こけし絵付け教室」を開催しています。完成作品は、毎年全日本こけしコンクールに展示しています。



▲昨年11月には、登別市の中学生が南中学校を訪問しました。

●ふるさとのおまを語る交流事業
中学生たちが、お互いのまちや学校の紹介、弁論発表など行っており、交流が深まっています。今年度は、10月に白石市の中学生が登別市を訪問します。



▲登別市老人クラブ大会であいさつする小室白石市老人クラブ連合会長(昨年11月)

●老人クラブ連合会交流
昭和61年に姉妹提携を結んだ両市の老人クラブ連合会では、相互に老人クラブ大会に代表を派遣して、交流を深めています。



「末永い交流を」
白石市姉妹友好都市交流協会会長(登別・白石姉妹都市親善交流会会長) 佐藤 孝一さん
私もたびたび登別市を訪問していますが、登別市の方々は、いつも我々白石市民を心から温かくご歓迎してくださり、交流のたびに白石と登別の歴史のきずなを再確認しています。今年、登別市との姉妹都市提携が20周年を迎えたことは非常に意義深いことで、今後も両市が青少年の文化・スポーツ交流や産業、福祉と友好の輪を広げ、末永く交流活動が進められることを願っています。

「白石市姉妹友好都市交流協会」
市では、登別市および海老名市と姉妹都市、札幌市白石区と友好都市締結を行っています。
今年3月、より大きな力で交流を図るため、それぞれの都市ごとに結成していた3つの交流会が合流し、「白石市姉妹友好都市交流協会」が発足しました。
交流協会では、会員募集を随時行っています。
●年会費 一人2,000円
*申し込み・問い合わせは、交流協会事務局総務課内 ☎22-1331まで。